



日本共産党区議会議員
みやざき かつとし 克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674
2007年5月27日 No.574



ゆたか病院がベッド廃止

6月から診療所に。秋には「通所リハビリ」開設へ



ゆたか病院は6月から診療所として再出発します。

ゆたか診療所の外来診療体制(6月から)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	整形外科 内科2診	内科2診	糖尿病 内科2診	内科2診	循環器 内科	整形外科 内科2診	内科
午後	内科	神経内科 内科	予約2診 内科	成人病 皮膚科	神経内科 糖尿病 整形外科 内科	×	×
夜間	内科	内科	内科	内科	内科	×	×

診察時間は
午前 9時～12時
午後 13時30分～16時30分
夜間 17時～19時30分
※詳しくは窓口に問い合わせを

豊町4丁目のゆたか病院(権守光夫院長)は今月末で入院ベッドを廃止し、6月から「ゆたか診療所」として再出発します。入院ベッドがなくなることに地域の住民から心配の声も寄せられています。今後の方向や患者対応など、ゆたか病院事務長の伊藤邦夫さんにお聞きしました。

問—入院ベッドをなくすことに、地域住民や患者さんからは不安の声も寄せられています。ゆたか病院は今後どうなるのですか？

外来中心の診療所として引き続き地域医療に取り組みます

伊藤—ゆたか病院は20床(現在24床)の小規模病院として、立会診療所の時代から数えて56年間にわたって品川の地で医療活動をすすめてきました。75年に大田病院と合併、病院建設にあたっては協力基金・資金などの援助をいただきました。長年ご援助いただいた地域のみなさま、城南保健生協のみなさまに

心からお礼申し上げます。

ゆたか病院は、「命は平等」の立場で「差額ベッド代」を取らないでがんばってきました。しかし、政府の「医療費抑制」政策の強化により特に小規模の病院は経営が厳しくなっていました。ゆたか病院も例外ではなく、職員一同がんばってきましたが2000年以降は経営が赤字となり、ベッドの維持が困難になりました。残念ながら5月末でベッドを廃止することにしたものです。なお、入院は大田病院で対応いたします。

6月から「ゆたか診療所」とな

ります。外来診療体制は表面のとおりです。①平日の夜間と土曜、日曜・休日の午前は引き続き診療を実施。②高血圧・高脂血症・糖尿病の予約外来を新設。

③通所リハビリテーションの開設(秋ころ)。④大田病院への巡回車の回数を増やし、患者さんやご家族のみなさまがご利用しやすくするなど、大田病院との連携をいっそう強化します。

患者さんや地域のみなさまからのご意見・ご要望もうかがいながら、さらに充実していきたいと考えております。

問―夜間・休日の医師体制はどうなりますか？ 急患はどうしたらいいのですか？

在宅は24時間対応。 夜間・休日の急患は救急病院のご利用を

伊藤―ベッド廃止にもなつ

て夜間く深夜、休日は医師が不在となりますので、これまでどおり急患はお受けすることができません。大変なご迷惑をおかけしますが、次のとおり対応させていただきます。

自・公の医療破壊ストップを!

政府・厚生労働省は、医療費を抑制するために患者負担増による受診抑制だけでなく、病院のベッドそのものを削減する計画です。ベッドは急性期の病院だけとして、大田病院にもある医療型の「療養病床」は廃止します。数年前まで130万床あった全国のベッドが現在は100万床を割り、今後60万床まで減らそうというのです。

力をあわせて、自民・公明政権による医療破壊をストップ、国民の医療を守りましょう。



みやざき克俊

①在宅で往診を受けておられる患者さんには、症状や家族の希望に応じて24時間対応できる体制をとっていきます。

②外来は、平日が午後7時30分まで、土曜日と休日は正午まで受け付けます。それ以降の夜間と休日の急患は、大田病院のほか昭と大学、旗の台脳神経外科など救急病院や荏原医師会付属の休日診療所を利用して下さい。なにとぞご理解、ご協力をお願いします。

救急病院	住所	電話
昭和大学	旗の台1-5-8	3784-8000
旗の台脳神経外科	旗の台5-17-16	3781-1108
NTT東日本関東	東五反田5-9-22	3448-6111
第三北品川	北品川3-3-7	3474-1831
大村	大井3-27-11	3773-0102
都立荏原	大田区東雪谷	5734-8000
一般病院		
東芝	東大井6-3-22	3764-0511
休日診療所		
荏原医師会付属	中延2-6-5	3783-2355



無料 法律相談は

6月15日(金)Pm6:30~

みやざき克俊事務所